

当代の人気者がミナミを賑わす 今宮戎神社十日戎「宝恵駕行列」



佳世子さん



大引啓次さんとバファローベル



難波センター街商店街での宝恵駕行列



豊松清十郎さん

1月10日、今宮戎神社(大阪市浪速区)の十日戎に、恒例の宝恵駕行列の奉納が行われた。

午前10時、とんぼりリバーウォーク(戎橋～太左衛門橋)で出発式が行われた後、多くの人が見守るなか、芸妓代表の佳世子氏を先頭に歌舞伎俳優の市川右近氏や文楽人形遣いの豊松清十郎氏、上方舞山村流六世宗家の山村若氏、吉本興業の間寛平氏、NHK連続テレビ小説『カーネーション』出演女優の尾野真千子氏、オリックス・バファローズの大引啓次氏、大阪エヴェッサのケビン・タイナー氏、OSK日本歌劇団の桜花昇ぼる氏らが駕籠に乗り込み宗右衛門町をスタート。「ほえかご、ほえかご」の掛け声とともに、道頓堀商店街や戎橋筋商店街などを経て今宮戎神社まで、約2時間ミナミの街を練り歩いた。

沿道は多くの人で賑わい、「いつもカーネーション見てるよ〜」「今年は優勝を頼むで〜」という声援があがっていた。今宮戎神社に到着した一行は拝殿に参詣したあと福笹を授かり、昨年一年の無事を感謝するとともに、今年一年の商売繁盛を祈願した。

宝恵駕の起源は江戸時代の宝永年間(1704～1711年)といわれ、明治中頃から花街の誘客手段として規模を大きくし、最盛期の昭和13年頃にはミナミの芸者衆が30丁もの駕籠を連ねたこともあった。戦争や社会情勢の変化から昭和18年に中止されたが、現在は地元商店街の協力で復活し、市民参加型の祭りとして再び往時の賑わいを取り戻した。

大阪21世紀協会は、文化資源を活かした関西・大阪のイメージ向上の取り組みの一環として、伝統行事である宝恵駕行列の保存・継承に向けた協力を行っている。

北新地に春と福を呼ぶ恒例祭事 堂島薬師堂節分お水汲み祭り



お水汲み(堂島薬師堂)

参拝者の竹筒護符に、奈良薬師寺の僧侶が祈祷したお香水(こうずい)を汲み清め、無病息災と商売繁盛を祈る。堂内には薬師如来像、弘法大師像などの仏像や涅槃図が祀っている。



北新地芸妓衆の奉納舞(堂島アバンサ会場)



『お化け』で花魁に扮した北新地クイーンのあやかさん(中央)



龍(弁財天の化身)の巡行

2月3日・節分の日、堂島薬師堂(大阪市北区)で毎年恒例の『堂島薬師堂節分お水汲み祭り』が行われた。この祭りは、地元で古くから続いている『節分祭り』と、2004年に地元曾根崎新地や経済界の呼びかけで復興した『お水汲み』をひとつにしたもの。午後3時から堂島薬師堂で『お水汲み』がはじまり、『鬼追い』の町まわりや北新地芸妓衆の奉納舞、龍の巡行、ホステスたちが仮装する『お化け』など、当地ならではの艶やかな行事が夜まで練り広げられた。

主催者の堂島薬師堂奉賛会や地元商店会、企業などをつくる堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会は、この祭りを契機として北新地・堂島界隈を活性化し、ひいては水都大阪の再生につなげることを目指している。